

昭和38年度上半期 収入支出のあらまし

昭和三十八年度上半期(38・4・1～38・9・30)における収入支出の概況は左下の図のとおりであります。

一般会計の予算執行状況は「才入」についてみますと予算額八億二千六百二十一万七千五百円に対する執行率は四六・三三、三億七千六百四十九万九千九百三十四円となつております。この内主なものは、六〇・七四%と大半を占めており、主要収入額が一億二千八百六十九万五千七百九十九円、次に繰入金八千五百五十五万五千円、繰越金三千四百一十万七千七百八十七円となつております。その他、県からの補助金及び事業費にあつては借入金としての市債等の依存財源は、その事業の進捗に伴つて下半期に収納が期待されております。

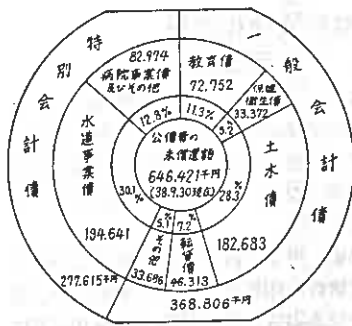
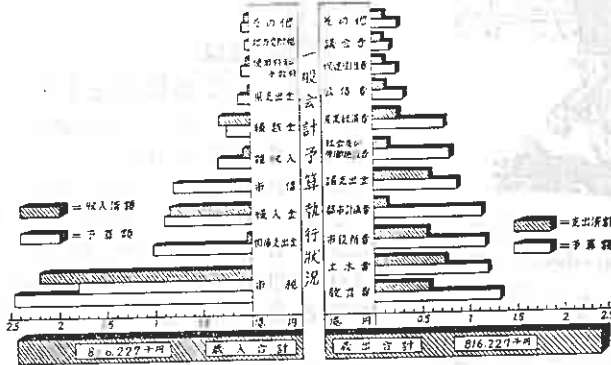
市有財産の状況

市には、市の財産として各学校、住宅市庁舎など数多くの建物や土地などの不動産と特定の目的のために積立られた現金有価証券及び自動車等があります。本年九月末日現在の市有財産の保有状況は下の表のとおりです。

市有財産状況

区分	現在高	区分	現在高
現金及び有価証券	26,058,510円	植林	7,437m ²
土地	582,610m ²	車輛	27台
家屋	72,167m ²	電話加入権	37個

昭和38年度上半期予算執行状況
(昭和38年7月1日～11月30日)



市では、学校の建設、住宅の建設と大きな事業を行つたときに市の財源のみでこれをまかなうことはできません。そこで政府金融機関からの長期の借入れを受けまして事業を行つております。これには、国や県の許可

市債

及び借入事業市債別現在高は、左図のとおりでございます。

昭和38年度特別会計予算執行状況(38年9月31日現在)

国保会計	公益質屋会計	と畜場会計
予算額 48,425,400円 収入済額 25,288,625円 支出済額 15,819,685円	予算額 3,979,300円 収入済額 1,187,428円 支出済額 1,070,437円	予算額 3,735,700円 収入済額 2,926,008円 支出済額 1,060,542円

が必要でなだりに借入れすることほできません。これが市債つまり市の借金でございます。前回にお知らせしました後に借入れされましたのは、港灣整備事業市債三千八百万円、住宅建設市債一千四百万円、都市計画事業市債八百万円、田子浦小学校移築市債七百万円、保育園建設市債百万円となつております。次に九月末日現在の未償還元金における未償還元金

年末年始の執務について

例年どおり12月28日が御用納めになります。ことしは28日が土曜日に当りますので役所にご用の方は早目に用件をすまして下さい。また仕事始めは明年1月4日(土)から執務します。



国民健康保険事業会計は、当初予算額四十二万三千二百五十五円がそのまま最終予算額となりました。繰入、繰出の執行率はそれぞれ一一・七二%及び九五・〇九%であります。

公益質屋会計は、当初予算額三百八十四万六千円で国民健康保険事業会計と同様

以上が昭和三十八年四月より九月三十日までの上半期に於ける財政の概況であります。市の行政を推進するために財政需要は、年ともに増加の一途を辿る情勢にあります。この今後の市政運営は相当の困難が予想されますが、地方自治の本旨に則り地方団体の健全な財政運営をしてゆこうと必要であります。そのためには、極力元費の節減はもとより、効果的な事業の進捗をはかり、予算の編成から執行を通じまして効率的運用に努める一方収入財源の確保に努力いたしまして懸案の諸施策の早期実現をはかり市民の皆さんのご期待にそつと努力したいと存じます。

市民の皆さんにおかれましても、充分市政の実態を把握されて明るい住みよい富土市建設のため、建設的なご批判とご協力をお願いします。

あとがき